

2020年度 長岡崇徳大学 看護学部看護学科 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

科目名	科目番号	担当	単位数		時間数	学年配当	授業形態	内容
			必修	選択				
疾病治療論Ⅱ	2209030	佐藤和弘、富所隆	1		15	2	講義	【オムニバス形式で医療機関の医師が教授する科目】 呼吸器疾患、消化器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。 (佐藤和弘/4回)呼吸不全、呼吸器感染症、肺循環器障害、気胸、腫瘍などについて学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。治療法については、手術療法の例を含む。 (富所隆/4回)消化器疾患の病因から治療までを学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。治療については、手術療法を含む。
疾病治療論Ⅲ	2209040	福居和人、丸山晋司	1		15	2	講義	【オムニバス形式で医療機関の医師が教授する科目】 代謝、内分泌疾患、腎疾患、および産婦人科疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。 (福居和人/4回)間脳・下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、メタボリック・シンドローム、糖尿病などである。 (丸山晋司/4回)生殖器・婦人科疾患および泌尿器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。具体的には、子宮がんを含む女性生殖器疾患、不妊症、性感染症、性分化疾患などである。なお、周産期疾患を含め女性特有の疾患について学ぶ。また、主な腎疾患と腎機能障害に対する透析療法、腎移植などの治療法を学ぶ。
疾病治療論Ⅳ	2209050	伊藤正一、星野正	1		15	2	講義	【オムニバス形式で医療機関の医師が教授する科目】 運動器疾患、神経疾患、造血器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。 (伊藤正一/4回)白血病などの造血器疾患とその治療法としての化学療法や輸血療法、および放射線療法を学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。 (星野正/4回)骨折などの筋・骨格器の障害、脊髄損傷などの神経障害による運動機能障害および放射線治療や麻酔療法について学び、看護実践の基礎知識とする。
疾病治療論Ⅴ	2209060	三木健司、渡部和成	1		15	2	講義	【オムニバス形式で医療機関の医師が教授する科目】 脳神経疾患、精神疾患の成り立ち、症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。 (三木健司/4回)様々な原因による高次機能制御系障害について、検査、診断、治療法について学び、看護実践のための基礎知識を深める。手術療法の例を含めて学ぶ。 (渡部和成/4回)精神および行動障害疾患について学び、看護実践のための基礎知識とする。統合失調症などの疾患の他、ストレス関連障害、摂食障害、行動障害、依存症などを含む。

科目名	科目番号	担当	単位数		時間数	学年配当	授業形態	内容
			必修	選択				
基礎看護技術演習Ⅰ	2311030	倉島幸子、大橋洋子、大崎美奈子	2		60	1	演習	【看護実務経験を持つ教員が教授する科目】 看護技術の共通する考え方、コミュニケーション、安全安楽、自立への援助についてまず学習する。またボディーメカニクス、教育的関わり、運動、活動、休息、睡眠の援助とヘルスアセスメントについて学ぶ。演習を通して、看護技術の独自性について、人間の尊厳と関連して捉えられるように授業を進める。
基礎看護技術演習Ⅱ	2311040	倉島幸子、大橋洋子、大崎美奈子	2		60	1	演習	【看護実務経験を持つ教員が教授する科目】 健康障害のある人への看護技術を学ぶ。感染予防、病床環境の調整、体位と移動、栄養と食事、排泄、衣生活、身体の清潔について具体的に学ぶ。食事の援助では、経鼻カテーテル法、高カロリー輸液について、排泄では浣腸、ストーマケア、導尿を含めて学習する。演習を通して、看護技術について、人間の尊厳と関連して捉えられるように授業を進める。
基礎看護技術演習Ⅲ	2311050	倉島幸子、大橋洋子、大崎美奈子	2		60	2	演習	【看護実務経験を持つ教員が教授する科目】 診断・治療過程にある対象に施される診療（診察・検査・治療）の目的、方法を理解し、診療を補助する看護者の役割と技術を学ぶ。具体的な技術として、検査、与薬、症状・生体機能管理、呼吸・循環を整える技術、罨法、創傷管理、危篤・死亡時の看護について学ぶ。また診療に伴う対象の心身の苦痛を最小限に抑え、正確で安全な技術の修得を図る。
基礎看護学実習Ⅰ	2311070	倉島幸子、大橋洋子、藤田勇、沼野博子、大崎美奈子	1		45	1	実習	【看護実務経験を持つ教員が教授する科目】 病院実習において、看護業務を見学し、患者ケアや多職種との連携から看護師の役割や責務について知り、これからの看護学学習への動機付けとなる入門実習となる。実習先の実習オリエンテーションでは、実習病院の運営方針と組織・機能、病棟の構造や設備、特徴、看護体制、安全対策、感染予防対策等から患者の療養環境及び生活の場を理解する。また、診療活動や看護活動、様々な保健医療従事者の活動の実際を知り、看護の役割について学ぶ。
基礎看護学実習Ⅱ	2311080	倉島幸子、大橋洋子、藤田勇、伊藤文子、沼野博子、大崎美奈子、角山裕美子	2		90	2	実習	【看護実務経験を持つ教員が教授する科目】 疾病や障害を持ち、生きることとはどういうことかといった問いを対象者の立場になって学ぶ実習である。療養している対象者を一人受け持ち、対象者や家族と援助的人間関係を深め、対象者の生活における基本的ニーズの観点から情報収集、アセスメント、計画立案という看護の系統的思考過程の展開を学ぶ。共感や寄り添った看護を科学的根拠を持って実践することで看護を実感し、看護実践の基礎を身につける。また、実習を通して責任ある行動・態度を修得する。

科目名	科目番号	担当	単位数		時間数	学年配当	授業形態	内容
			必修	選択				
チーム医療論	2311090	加固正子、本間美知子、 小山歌子	1		15	1	講義	<p>【オムニバス形式で看護実務経験を持つ教員が教授する科目】</p> <p>患者を中心とした良質な「チーム医療」が実践できる基礎的な能力を養う。また、医療専門職が互いの特性を理解し、尊重し合ってコミュニケーションをとりながら協調的に医療を実践できる素養を身につける。</p> <p>(加固正子/3回) チーム医療の概念を理解し、医療チームを構成する専門職の役割について理解し、看護職と多職種との関係を学ぶ。</p> <p>(本間美知子/4回) 対象や家族中心の多職種連携の考え方を学ぶ。臨床でのチーム医療から切れ目なく地域でのケアにつながることの重要性について学ぶ。また、チーム医療及び多職種との協働の中で看護師としてのメンバーシップ及びリーダーシップを理解する。</p> <p>(小山歌子/1回) 地域におけるチーム医療における現状と課題について学ぶ。</p>
成人看護援助論Ⅲ	2312040	広井貴子、目黒優子	1		30	2	演習	<p>【看護実務経験を持つ教員が教授する科目】</p> <p>成人看護援助に必要な技術について、科学的根拠を確認しながらより実践的に学ぶ。</p> <p>成人看護援助論Ⅰ、Ⅱで学習した看護技術や看護援助過程について実践的に学習する。成人看護学実習の事前学習として手術からの回復期の看護を含む周手術期の看護援助技術の習得、および慢性疾患をもつ対象者に対するセルフマネジメントにつながる健康支援について、より具体的で実践的に演習を行うことによって学ぶ。</p>
公衆衛生看護学概論	2313060	飯吉令枝、平澤則子、 小山歌子		2	30	1	講義	<p>【オムニバス形式で看護実務経験を持つ教員が教授する科目】</p> <p>本人・家族や集団、組織を含む地域を基盤とした看護活動の考え方、公的ヘルスケアサービスの中で機能する看護のあり方を学ぶ。また、予防的介入を基盤とした公衆衛生看護活動を具体的に学び、人々の健康に貢献するために看護がどのように機能することが求められているかを考える。</p> <p>(飯吉令枝/5回) 導入の講義を行う。</p> <p>(小山歌子/5回) 公的ヘルスケアサービスに関する講義を行う。</p> <p>(平澤則子/5回) 具体的な公衆衛生看護活動についての講義を行う。</p>
公衆衛生看護活動論Ⅰ	2313070	駒形三和子、飯吉令枝、 平澤則子		2	30	2	講義	<p>【オムニバス形式で看護実務経験を持つ教員が教授する科目】</p> <p>地域で生活する個人や家族・集団・組織に対して、そのヘルスニーズに応じた公衆衛生看護活動の展開方法を理解し、保健師の役割、機能を学習する。ライフサイクルと健康課題ごとの看護活動方法を理解する。母子、成人、高齢者保健福祉や精神・障害者に対する地域看護活動の展開方法を理解し、看護職の役割・機能を学習する。さらに、難病対策における看護職の役割・機能を学習する。</p> <p>(飯吉令枝/3回) 導入の講義を行う。</p> <p>(駒形三和子/6回) (平澤則子/6回) 対象別の具体的展開方法について講義を行う。</p>
合計			15	4	480			